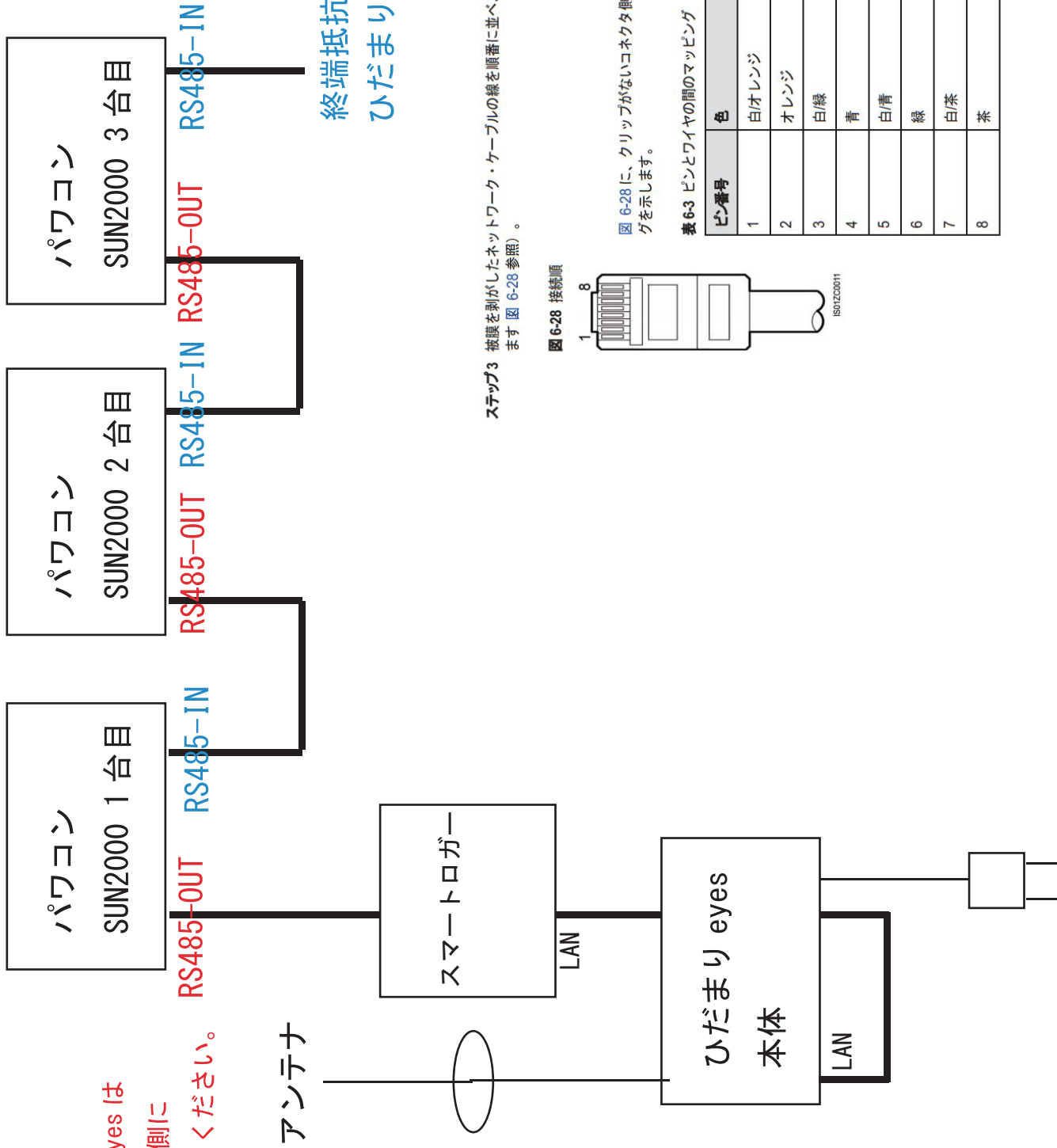


ファウエイパソコン 工事 配線図

注意！

ひだまり eyes は
RS485-OUT 側に
取り付けてください。



ステップ3 被膜を剥がしたネットワーク・ケーブルの線を順番に並べ、プラグの対応するピンに接続します 図 6-28 参照）。

図 6-28 接続順

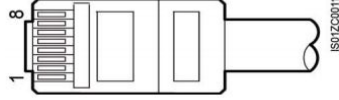


図 6-28 に、クリップがないコネクタ側を示します。表 6-3 に、ピンとワイヤの間のマッピングを示します。

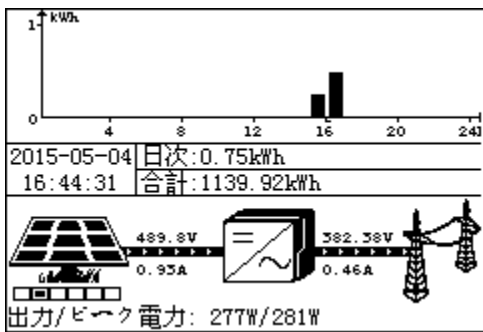

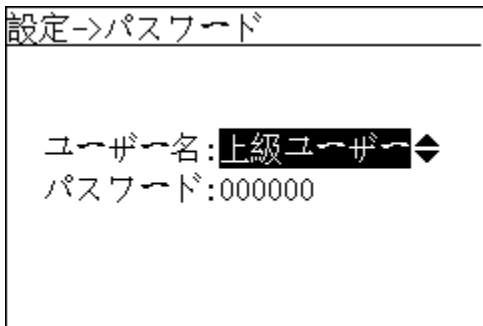
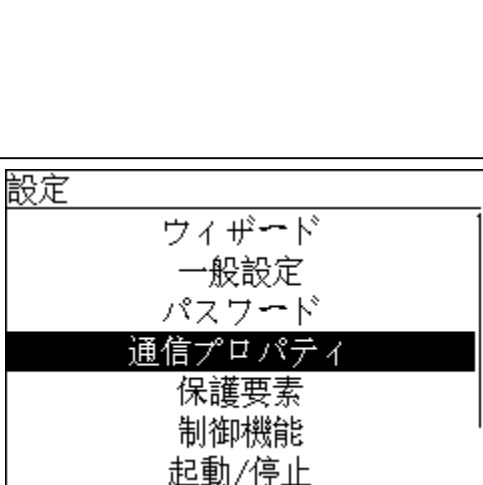
表 6-3 ピンとワイヤの間のマッピング


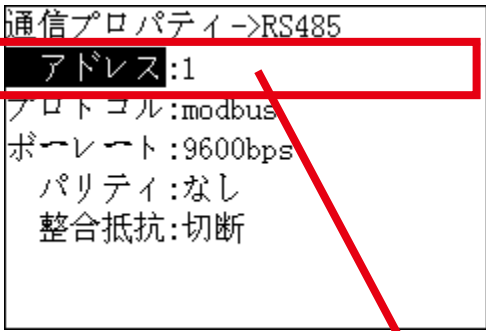
ピン番号	色	機能
1	白/オレンジ	RS485A, RS485 差動信号+
2	オレンジ	RS485B, RS485 差動信号-
3	白/緑	
4	青	
5	白/青	
6	緑	PGND
7	白/茶	
8	茶	

ひだまりeyes ファーウェイパワコン 設定方法

8.2.8 通信プロパティの設定

ひだまりeyesを接続するにあたって下記の設定をしてください。

LCD 画面	手順
	<p>1. ホーム画面で[←]を押し、メイン・メニューに移行します。</p>
	<p>2. [設定]を選択して[←]を押します。</p>
<p>設定→パスワード</p> 	<p>3. [▲]または[▼]を押して正しいユーザー名およびパスワードを入力し[←]を押します。</p> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ? オプションのユーザー名[上級ユーザー]です。[上級ユーザー]の初期のパスワードは000001です。パスワードを忘れた場合は、日のみ有効な動的パスワードをファーウェイ技術サポートまでお問い合わせください。ログイン後にパスワードを変更してください。 ? 認証に成功すると、システムはこの認証情報を30秒間保持します。設定画面を終了し、30秒以内に再度ログインする場合は、認証は必要ありません。
<p>設定</p> 	<p>4. [通信プロパティ]を選択して[←]を押します。</p>

LCD 画面	手順
	5. 通信プロパティ画面で、[↵]を押します。
	<p>6. [アドレス]、[プロトコル]、[ボーレート]、[パリティ]、[整合抵抗]を設定して[↵]を押します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ? オプションのアドレス範囲は-[63]です。 ? オプションのプロトコルは[Modbus]です。 ? オプションのボーレートは[4800bps]、[9600bps]、[19200bps]です。 ? オプションのパリティは[なし]、[奇数パリティ]と[偶数パリティ]です。 ? オプションの整合抵抗の値は[切断]と[接続]です。 <p>このパラメータはデフォルトで[切断]に設定されています。通信ケーブルが長すぎるため、信号が変形しているか通信品質が低い場合は、パラメータを[接続]に設定してください。</p>

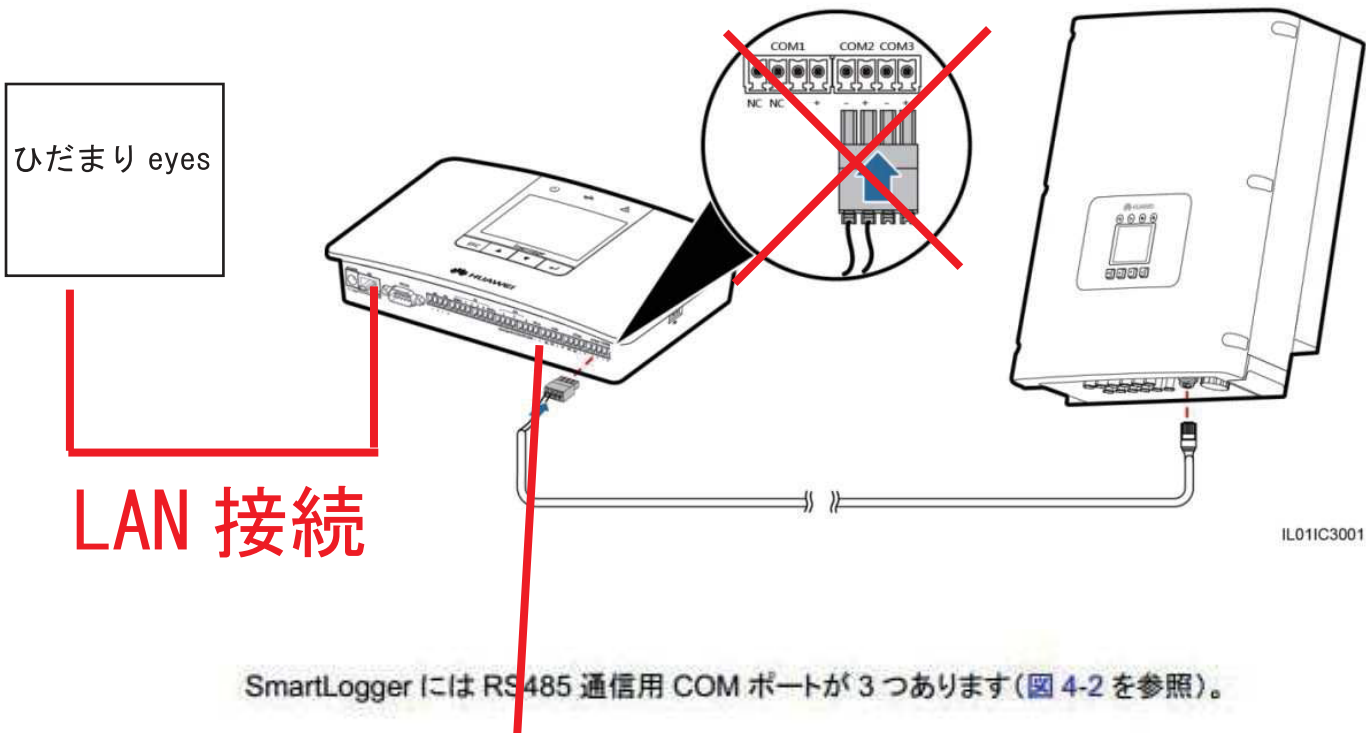
設定→通信プロパティ RS485

アドレス 1から順番にパワコン台数分

プロトコル : Modbus
 ボーレート : 9600bps
 パリティ : なし

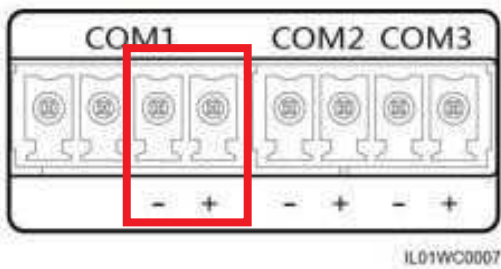
ここを変更するのみです。

図4-3 SUN2000 への SmartLogger の接続



SmartLogger には RS485 通信用 COM ポートが 3 つあります(図 4-2 を参照)。

図4-2 SmartLogger の COM ポート



LCD	操作手順
初期化→ウィザード 日付と時刻 日付:2014-04-23 時刻:08:44:26 TZ:UTC Dublin DST:無効	4. 正しい日付と時刻を設定して ↵ を押します。 • 個別のパラメータを選択するには ↵ を押します。パラメータ値を設定するには ▲ または ▼ を押します。 • 日付が YYYY-MM-DD 形式、時刻が hh:mm:ss 形式でそれぞれ表示されます。YYYY は年、MM は月、DD は日、hh は時、mm は分、ss は秒を表します。 注意事項 [時間]が正常に設定されると、SmartLogger に接続されたすべてのインバータをこの時刻に同期できます。
初期化→ウィザード イーサネット IPアドレス:192.168. 0. 10 サブネットマスク:255.255.255. 0 ゲートウェイ:192.168. 0. 1 DNS-1:192.168. 0. 1 DNS-2: 0. 0. 0. 0 送信	5. イーサネット・パラメータを設定して ↵ を押します。 以下のイーサネット・パラメータを設定できます。[IP アドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイ]および[DNS]。
初期化→ウィザード アドレスセグメントの検索 RS485-1:001-020 RS485-2:001-020 RS485-3:001-020	6. RS485 検索アドレス・セグメントを設定して ↵ を押します。 [RS485-1]、[RS485-2]、および[RS485-3]の検索アドレス・セグメントをそれぞれ設定する必要があります。
初期化→デバイスの検索 今すぐデバイスを検索しますか? ESC:キャンセル ↵ :入力	7. ページ上で ↵ を押します。 検索が完了すると、SmartLogger に検索結果が表示されます。 ↵ を押してこの操作を完了します。

IP アドレス 192.168.11.110

サブネットマスク 255.255.255.0

ゲートウェイ 192.168.11.1

DNS 1 192.168.11.1

スマートロガーにログイン後

下記設定をする

図7-96 Modbus TCP

The screenshot shows the 'Modbus TCP' configuration window in the Enspire software. The left sidebar contains the following menu items: ユーザーパラメータ, 日付と時刻, プラント, 通信, 共通パラメータ, イーサネット, RS485, EMI, 電力計, NetEco, Modbus-TCP (selected), IEC103, IEC104, 拡張パラメータ, FTP, Email, ポート設定, DO, and USB. The main configuration area for Modbus TCP includes a table with columns for 'リンク設定' (Link Settings) and '有効' (Valid). The table lists five clients, each with an 'アドレスモード' (Address Mode) dropdown set to '物理アドレス' (Physical Address) and an 'IPアドレス' (IP Address) field. Red text annotations are present: 'アドレスモード' and '物理アドレス' are written above the first client's dropdown, and 'クライアント1 IPアドレス 192.168.11.1' is written next to the first client's IP address field. A '送信' (Send) button is located below the table.

リンク設定	有効
アドレスモード	物理アドレス
クライアント1 IPアドレス	0. 0. 0. 0
クライアント2 IPアドレス	0. 0. 0. 0
クライアント3 IPアドレス	0. 0. 0. 0
クライアント4 IPアドレス	0. 0. 0. 0
クライアント5 IPアドレス	0. 0. 0. 0

送信

6ページの画面が出ない場合は赤枠の設定をして送信を押してください。

The screenshot shows the 'Modbus TCP' configuration page in the Huawei Enspire power system interface. The left sidebar contains a menu with various system settings. The main area displays the following configuration options:

Modbus TCP	
リンク設定	有効(制限なし)
アドレスモード	論理アドレス
SmartLoggerアドレス	0 (0-247)

A red rectangle highlights the 'リンク設定' (Link Setting) and 'アドレスモード' (Address Mode) dropdown menus. Below the configuration fields is a blue button labeled '送信' (Send).

At the bottom of the interface, the status bar shows the time '2019-10-08 11:02', system commands 'P: NA Q: NA', and the Huawei logo with 'Copyright © Huawei Techno'.